

黒潮を越える! 彼が挑んだ45時間

河合塾エンリッチ講座 2019

◆講演：原 康司 (3万年前の航海徹底再現プロジェクト 漕ぎ手リーダー)

◆司会：横川 耕二 (数学科講師)

写真提供：国立科学博物館

天候回復を何日も何日も待ち続けた。期限が迫る頃、風が弱くなったその時に出航を決めた。厚い雲と重い大気の中、紺碧の黒潮に向けて丸木舟を漕ぎ出した。

漕ぎ手リーダーの原さんは瀬戸内海佐合島で語っていた。

「シングルパドルで長時間のパドリングを繰り返す。」

「なにが起こるかわからないが、自身の不安要素はできる限り取り除いて本番に挑む。」

「夜は星の運行を漕ぎながら頭に叩き込む。北極星が出れば簡単だが、夏の星、東に出るのはアルタイル、西に沈むのはアークトゥルス。動く星と様々な星座を正確に捉え、方向を見失わないように。」

台湾から与那国島まで 200 km 超。台湾沖の黒潮のパワーは凄まじい。

世界最大のこの海流は南方から届く大きな長いうねりと圧倒する強い潮の流れをもつ。

地図、コンパス、時計、GPS なし、丸木舟に一切情報を与えない。男女の集団で漕ぎ手の途中交代もない。この航海を伝える言葉を私は持たない。想像を絶するのだ。

浸水や蛇行など数々の困難に直面しながら、夜を徹して出航から 45 時間後に島に到達した。

「ほぼ完璧な航海だった。」原さんはそう言った。(数学科講師 横川耕二)



3万年前の航海徹底再現プロジェクト 漕ぎ手リーダー……原 康司 (はら こうじ)

1972年山口県出身。DAIDUK OCEAN KAYAKS & ADVENTURE 主宰。

1992年アメリカ大陸自転車横断を皮切りに、1994年アマゾン河単独下降 4,000 km。インドネシア・トギアン諸島にて3年に渡り真珠養殖業に従事しシーカヤックで周辺の海洋民族との交流を持つ。1996年からアラスカ遠征を繰り返し、ユーコン河カヤック単独下降 3,000 km、北極圏自転車横断 1,500 km、北極圏ノアタック河、コブック河単独下降。2003年にはアラスカ・ベーリング海沿岸 1,700 km 単独航海に成功。九州カヤック一周 1,200 km、瀬戸内海カヤック縦断 500 km (山口県大津島～兵庫県淡路島)、瀬戸内横断隊連続参加2代目隊長。

2014年 Japan to Korea expedition 米国人マイケル・リード氏とともに福岡～韓国釜山まで 250 km を史上初無伴走船でのシーカヤック単独横断に成功。国際漂着ゴミ問題の解決に向けたキャンペーンを行う。

10月3日(木) 17:30～19:00

河合塾Wings立川教室 62教室



入場無料
申込不要

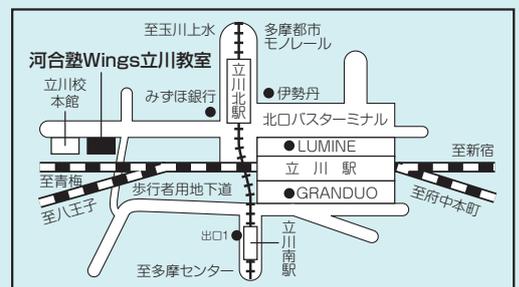
〒190-0012 立川市曙町 1-14-13

☎ 0120-198-640

● JR 中央線・南武線・青梅線 / 立川駅北口より徒歩 3分

● 多摩都市モノレール / 立川北駅より徒歩 2分、

立川南駅出口 1 より徒歩 3分



*どなたでも自由に参加できますが、定員になり次第、締めきりとさせていただきます。あらかじめ御了承ください。